

## ■施設騒音の再予測

### 1. 建物形状

建物形状

区分	本体	プラットフォーム
高さ (m)	39.7	20
縦長さ(m)	50.5	18
横長さ(m)	47	47
階数	6階相当	3階相当
1階当り高さ	6.6m	

内壁面面積	本 体	11548.5 (m <sup>2</sup> )
	プラットフォーム	3352 (m <sup>2</sup> )
	総 面 積	14900.5 (m <sup>2</sup> )

### 2. 防音対策

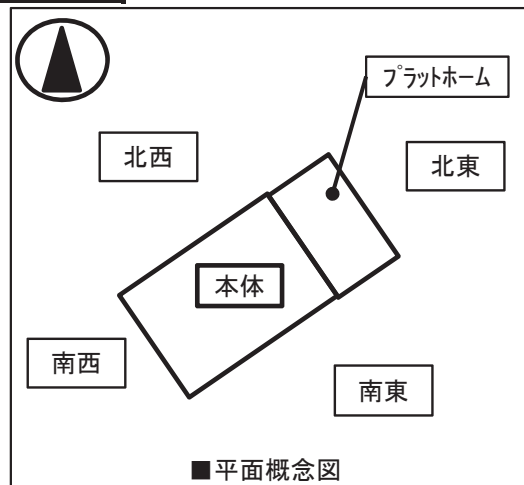
区分	材 質	防音対策
床	コンクリート	なし
天井	コンクリート	穴あきアルミ板設置
壁	ALC(2階以上)	穴あきアルミ板設置
	コンクリート(1階)	穴あきアルミ板設置

### 3. 音響特性

吸音率 (125Hz)	コンクリート	0.01	
	ALC	0.06	
	穴あきアルミ板	0.84	天井・壁の防音対策
透過損失 (125Hz)	コンクリート	31	100mm
	ALC 板	27	100mm

平均吸音率	0.661
室定数	17404
吸音力	9849

壁の部位	総 合 透過損失	面 積
本体縦壁(南東、北西)	27.66	2,005
本体横壁(南西、北東)	27.66	1,866
本体プラットフォーム上壁	27.00	926
プラットフォーム縦壁(南東、北西)	28.46	120
プラットフォーム横壁(南西、北東)	28.46	120



### 4. 予測式

$$L_r = L_w + 10\log(F/A) - TL - 20\log(r) - 8$$

$L_r$ : 工場外壁から $r$ m離れた地点における音圧レベル  
 $L_w$ : パワーレベル  
 $F$ : 外壁面積  
 $A$ : 工場の吸音力

室内音源パワーレベル(全機器の合成値)  
 122.1 dB

## 5. 予測結果

寄与値の比較

予測地点	音源	距離(m)	個別寄与騒音	合成寄与騒音	準備書の寄与値
B	北東壁(フラット)	64	30.4	42	45
	北東壁(フラット上)	79	38.9		
	北西壁(フラット)	62	30.7		
	北西壁(本体)	101	39.4		
C	南西壁(本体)	103	39.0	42	43
	南東壁(本体)	107	38.9		
	南東壁(フラット)	144	23.3		
J	南西壁(本体)	447	23.2	23	26
	南東壁(本体)	447	11.8		
M	南東壁(本体)	179	34.5	35	37
	南東壁(フラット)	163	22.3		

注) 距離は水平距離

予測値と環境保全目標の比較

予測地点	時間区分	暗騒音レベル	合成寄与騒音	予測結果	準備書の予測結果	環境保全目標
B	朝	53	42	53	54	50以下
	昼間	53		53	54	60以下
	夕	53		53	54	50以下
	夜間	47		48	49	50以下
C	朝	62	42	62	62	50以下
	昼間	62		62	62	60以下
	夕	62		62	62	50以下
	夜間	54		54	54	50以下
J	昼間	53	23	53	53	55以下
	夜間	51		51	51	45以下
M	昼間	52	35	52	52	55以下
	夜間	47		47	47	45以下

注) 予測結果は暗騒音レベルと合成寄与騒音との合成値である。